

活動報告

平成19年度 新潟県厚生連臨床工学技士会活動報告

上越総合病院臨床工学士部；臨床工学士

いし だしゅん たろう
石田俊太郎

新潟県厚生連臨床工学技士会は2007年12月現在、会員数39名が9施設で血液浄化療法を中心に循環・呼吸療法に関する生命維持装置の操作・保守業務を行っています。

当技士会は春期・秋期研修会の定期開催、日本透析医学会学術集会や新潟透析懇話会等への参加・学術発表および各地区での勉強会等を実施し、臨床工学技士としての知識・技術向上に努めております。各方面からの末永い御指導を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

2007年 活動実績（個人発表を含む）

- 4月15日 第49新潟県透析懇話会学術集会（朱鷺メッセ）
- 6月15～17日 第52回日本透析医学会学術集会・総会（大阪国際会議場）
佐藤 舞子 他：ダイアライザー膜素材が栄養状態の改善に及ぼす影響
- 7月15日 新潟県厚生連臨床工学技士会春期研修会・総会（厚生連村上総合病院）
教育講演「ペースメーカについての基礎と設定」
講師：(株)日本メドトロニクス 田中 秀人先生
- 9月1～2日 第34回東北腎不全研究会（秋田市）
石田俊太郎 他：週間透析スケジュールと血中濃度
- 11月18日 新潟県厚生連臨床工学技士会秋期研修会（厚生連三条総合病院）
教育講演「改正医療法「医療機器の保守点検と安全使用」
「各施設から医療機器安全対策に対しての臨床工学技士の関わり」
講師：医療法人社団善仁会本部 本間 崇先生
：茅ヶ崎得徳洲会総合病院 高木 政雄先生